

お盆期間中のある日のハローワーク。

カレンダー通りに開庁してはいましたが、管内の企業の多くはお盆休みに入っていて、来所される方はいつもより少なめ。そこで日頃できずにいた書庫の整理を進めました。

すると、ある箱の中から「フロッピーディスク」が！

思わず「わぁ、懐かしい！」と声をあげる私。すると20代の職員の一人は「聞いたことはあるけど見たことない。」さらにもう一人は「フロッピーって、何ですか?」と首をかしげていました。

そうなんですよ。現役世代の中には、こうしたジェネレーションギャップがあります。フロッピーディスクが大活躍していたのは、まだ「ワープロ」が主流だった頃。そこからパソコンが性能を高めながらあっという間にオフィスに普及していきました。

就職活動の入口である「応募書類」も、時代に合わせて形や意味合いを変えてきました。平成初頭の学生に「エントリーシート」はありませんでしたし、履歴書の様式も昔は「JIS規格」を推奨していました。令和2年にそのJIS規格が廃止され、現在は厚生労働省が示す様式例（※厚生労働省履歴書様式）をおすすめしています。

※ 厚生労働省履歴書様式は「ハローワークインターネットサービス」からダウンロードできます

履歴書は書いたことがあっても、職務経歴書は初めて…

手書きとパソコン、どちらがいいの？

職歴は全部書かなきゃダメ？

アルバイトって書いてもいいの？

そんな疑問も、どうぞお気軽にご相談ください。

「今さら聞けない…」なんて思わなくて大丈夫。ハローワークの窓口で、あなたの魅力やアピールポイントを一緒に整理していきましょう。

皆さまのご利用をお待ちしております。

